

こんなところにとらぶるの芽 (No.23)

~ちょっと気になる消費生活情報をお届けします



昨シーズンの灯油使って大丈夫？

灯油は、長期間保存していると、酸化劣化などで変質することがあります。また、保存方法によっては、容器に水がたまることもあります。このような灯油を暖房器具に使用すると、燃焼不良などを起こす可能性があります。

○変質灯油を使用すると

⇒悪臭の発生やススができる

⇒故障や火災の原因になる

※石油ストーブ（芯式）の場合、酸化した灯油がタールとして芯に付着して黒く堅くなり、灯油が浸透しにくくなって、芯や燃焼筒が使用できなくなってしまいます。

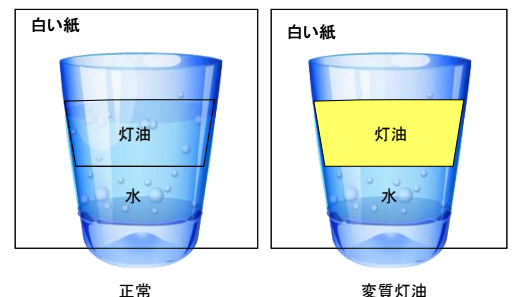
石油ファンヒーターの場合には、水が混入されると、気化器の錆の発生につながり、故障する原因にもなります。

■変質する可能性がある灯油とは

- ・昨シーズンから持ち越した灯油
- ・日光のあたるところや、温度の高いところで保管した灯油
- ・密閉されていなかったり、水用など灯油専用容器以外で保管した灯油

■変質灯油の見分け方

- 1 透明のガラスのコップに灯油と水を半分ずつ入れる
- 2 上が灯油、下が水に分離する
- 3 コップを白い紙の前に置いて色を見る



灯油が無色透明ならば「正常な灯油」

ちょっとでも色が付いていたり、すっぱい臭いがしたら「変質灯油」

※灯油の処分は、購入したお店（販売店やガソリンスタンド）にお問合せください。

<ここに気をつけよう>

- ★ 古い灯油は使用せず、シーズン中に使い切るようにする
- ★ 保存は、専用の容器に入れて密閉し、冷暗所に置く
- ★ 疑問、不安に思ったら、すぐに最寄りの消費生活センターに相談する

【灯油や暖房機器による火災に関する情報は下記のホームページでご覧になれます】

東京くらしねっと 11月号 安全シグナル 「暖房器具による火災を防ぎましょう」

<http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/kurashi/signal.html>

日本ガス石油機器工業会

<http://www.jgka.or.jp/>